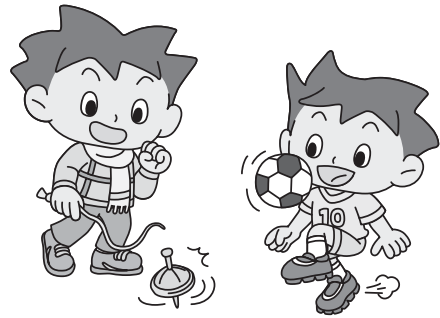


自然の中での野外活動

- 自然は人間に感動と驚きを与える
- 「おや、なぜ、どうして」と疑問を持つことにより、問題意識が出る
- 自然の中での生活は成就感や達成感をもたらす
- 共同生活をする中で、他人との違いを知り、理解することにつながる
- 同じ体験を共有し、連帯感を高める



物づくり 交流活動

- 試行錯誤を繰り返し、失敗から学ぶ
- 他人への気配りや思いやりの心に気づく
- 望ましい人間関係づくりを身につける

地域でできる体験



- 地域の一員としての自覚を持たせる
- 協力して何かをする喜びを味わう



- 他人のために役立つとする心を育む
- 他人への思いやりの心を培う

子どもたちがテレビなどメディアに接する時間は年間で1,000時間ぐらいになるという調査結果があります。これは、学校の授業時間数よりも多くなっています。この時間を少しでも子どもたちの体験活動に使うことができれば、子どもの健全育成に役立つと思います。豊かな時代だからこそ、時間のかかる不便な体験活動が必要ではないでしょうか。

子どもや保護者の悩みや心配ごとは 出雲市子ども支援センターに相談してください

出雲市子ども支援センターは、子どもの健やかな成長を願って活動しています。さまざまな悩みや心配ごとを抱える子どもや、その保護者などからの相談に対し、親身になって対応します。また、就労体験など必要に応じて地域のボランティアなどの協力を得ながら子どもたちの自立支援を図っています。

このような相談に応じます

- ◎非行や問題行動について
- ◎しつけや家庭教育について
- ◎性格や行動、身体や心の問題について
- ◎不登校・登校しぶりについて
- ◎ひきこもりについて

相談日時

◎月～金曜日 8時30分～18時まで ◎土曜日……8時30分～17時まで
(ただし、祝日・年末年始を除きます。)

相談方法

電話相談と面接相談(予約制)です。まずは相談電話(フリーダイヤル)(0120)

ヤッホー ナヤムナ
84-7867まで

●おたずね 出雲市子ども支援センター(☎21-4444)

青い旅



豊かな人間性や社会性を育む体験活動を

平成21年(2009)12月

子どもたちが健やかに成長していくためには、自然や社会の現実に触れる体験活動は欠かすことのできないものです。

子どもたちは、体験活動を通して、感動したり、命の大切さを知ったり、新しい発見をしたり、相手の気持ちになって考えたり、協力したり、我慢をしたりといった「生きる力」を育む基礎を身につけていきます。

しかし、今、子どもたちは物質的な豊かさや便利さの中で生活する一方で、塾やテレビ、テレビゲーム等に熱中することが増え、自然とのふれあいや社会への参加などの機会が減ってきています。さらに、家族形態の変化、地域の人間関係の希薄化等により多様な人間関係を幼いときから肌で学ぶ機会も不足している状況にあります。

子どもは生まれながらに自ら育つ力を持っています。今それが出せない状況にある子どもが多くいます。体験活動のもたらす効果を考えたとき、まずは大人が体験活動のできる機会と場を子どもに提供することが大切ではないでしょうか。私たちの周りには体験活動のできる場はたくさんあります。親子・地域で身近なところから体験活動に取り組んでみてはいかがでしょうか。

家庭でできる体験

年齢に応じた仕事を分担し、
責任を持たせる

- 家族の一員であることを自覚させる
- 責任感や自立心を養う
- 家族に必要とされているという気持ちを育む
- 命の大切さを学ぶ

